

国内標準委員会 令和4年度上期報告

1. 委員会構成及び活動概要：

- 1) 委員会構成は、委員長を含め中立者6名、生産者5名、使用者5名、事務局3名の計19名。
- 2) 今年度上期の主な活動は以下の通り。
 - ・日本規格協会（以下 JSA）の JIS 原案作成公募制度（2022 年度区分 A）に応募した JIS 原案作成（改正4件）の内、3件について8月に分科会を開催して事務局原案を精査した。今後、修正案を反映して本委員会で最終確認を行う予定。残り1件も事務局原案を作成済みであり、追って分科会で精査する予定。
 - ・令和4年度 JIS 5年見直し（35件）について関係先に意見照会し対応を取り纏めた。
 - ・当協会が発行する団体規格 JCMAS について、改正・廃止（各1件）の要望があり、意見照会を行い、改正・廃止の準備を進めている。

2. JIS 原案作成関連：

1) 令和4年度 JIS 原案作成（4件）：

JIS 原案作成公募制度（2022年度区分A）に応募の下記4件の原案作成を進めている。

- ・ JIS A 8340-2 土工機械－安全－第2部:ブルドーザの要求事項（改正）
- ・ JIS A 8340-3 土工機械－安全－第3部:ローダの要求事項（改正）
- ・ JIS A 8408 土工機械－遠隔操縦の安全要求事項（改正）
- ・ JIS A 8919 土工機械－操縦装置（改正）

他に、JIS A 8308 土工機械－基本機種－用語（改正）について、ISO の改正を待っていたが、9月に改正されたので、2023年度区分Aに応募して原案作成を行う予定。

2) 令和3年度に原案作成した JIS（7件）の発行状況：

a) 2022年9月に下記2件が発行された。

- ・ JIS A 8321 土工機械－油圧ショベル及びバックホウローダの降下制御装置－性能基準及び試験方法（改正）
- ・ JIS A 8334 土工機械－取扱説明書－内容及び様式（改正）

b) 現在、発行準備中の下記5件は、2022年12月頃に発行の見込み。

- ・ JIS A 8339 土工機械－クイックヒッチ－安全性（新規制定）
- ・ JIS A 8340-1 土工機械－安全－第1部: 一般要求事項（改正）
- ・ JIS A 8340-4 土工機械－安全－第4部: 油圧ショベルの要求事項（改正）
- ・ JIS A 8341-1 土工機械－機能安全－第1部: 制御システムの安全関連部及び性能要求事項の決定方法論（新規制定）
- ・ JIS A 8509-1 基礎工事機械－安全－第1部: くい打機の要求事項（改正）

3) 令和4年度 JIS 5年見直し：

当協会が原案を作成した JIS のうち、令和5年度に5年見直し時期となる案件（35件）について、当協会内の技術委員会などの要望を調査した。結果、29件を「確認」とし、6件を「暫定的確認」として9月末 JSA へ提出した。暫定的確認の JIS については来年4月までに対応を確定する予定。

3. 団体規格 JCMAS の改正・廃止：

当協会が発行する団体規格 JCMAS（下記 2 件）について、技術委員会からの要望があり、改正・廃止を準備中である。

- ・「JCMAS H 023 ラフテレーンクレーン作業燃料消費量試験方法」の改正：
試験時の安全性を確保するための改正であり、現在 WTO(世界貿易機関)/TBT(貿易の技術的障害に関する協定)/CGP(適正実施規準)に基づく意見受付の公告(60 日間)を実施中。12 月頃に改正の見込み。
- ・「JCMAS P 033 油圧ショベルアタッチメント取合部の寸法」の廃止：
油圧ショベルのアタッチメントの互換性を目的として、取合部の寸法を基準化して、2000 年に制定された規格であるが、最近の調査で、市場の実態と JCMAS が乖離しており、市場に混乱を生じる懸念があるため、廃止の方向で準備中である。

以上